

まちセンだより

＝手稲まちづくりセンター＝

手稲区の7つのまちづくりセンターから各地区の話題をお届けします。

手稲中央の宝物

手稲山のすそ野に広がる住宅地と、駅前を中心に商店や飲食店が軒を連ねる手稲本町地区。今回は、手稲の宝といえる、手稲山の魅力と商店街の若者たちをご紹介します。

▼魅力ある手稲山

手稲山は、開発の進んだ今も自然の魅力あふれる山であることに変わりはありません。地域の皆さんはその自然をとっても大切にされ、四季折々の姿を楽しんでいます。

手稲区役所では今年、山の魅力を知るきっかけにと「草花ガイド」の作成を進めています。その取り組みに協力いただいているのが「やまなみ手稲」という山を愛するサークルの皆さんで、手稲本町在住の濱谷義昭さん(66)がそ



▲やまなみ手稲の皆さん

の世話役を務めています。

8月初旬、会の皆さんは山頂付近に咲く「ヤナギラン」を見に行きました。



▲ヤナギランの群落を歩く

鮮やかなピンク色の花が一面に咲く光景は、幻想的で本当に見事だったそうです。

毎週のように手稲山に通う濱谷さんは「山の表情はいつも素晴らしく、決して飽きることはないですよ」と、その魅力を語っています。

交通の便に恵まれ、登山道が整備されている手稲山。皆さんも気軽に手稲山に足を運び、その魅力を発見してみませんか。

▼若者たちの活躍

夏から秋にかけてのお祭りシーズン。楽しいお祭りを支えているのは、もちろん地域の方々です。中でもとりわけ目立っているのが、手稲本町商店街振興組合の青年部とその仲間たちの活躍でしょう。

8月初旬の「はしご酒大会」を皮切りに、「盆踊りまつり」「どじょうまつり」が次々と開催されましたが、そこにはいつも、この若者たちの顔がありました。ひた向きに動き回る姿はまぶしく、今



▲どじょうまつりの様子

や地域の取り組みになくてもならない存在です。

今年の春、商店や飲食店が連なる二十四軒手稲通りに、黄金色の花を付けるキングサリ(金鎖)の木が試験的に植えられました。この植樹は、地域の方々とともに特色あるまちづくりをしたという青年部の思いで実現したものでした。

このような活動を見てみると、育った「まち」への熱い思いが伝わってきます。地域の皆さんは、そんな若者たちの活躍を後押しし、温かく見守っています。



▲焼き鳥を焼く青年部の皆さん